



2020年11月号
第16号

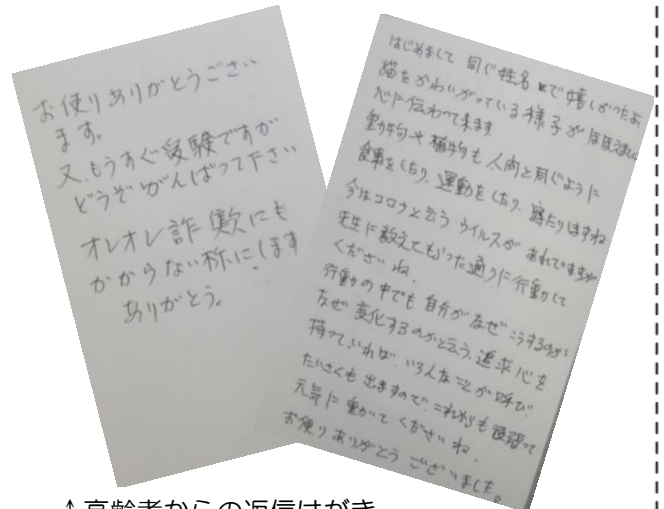
地域支え合い推進員だより

思いやりの輪プロジェクト

今年、新型コロナウイルス感染症予防のため、毎年11月に勤労センターで開催している、ひとり暮らし高齢者交流会が中止となりました。3密の回避から大勢で集まることができない中、新しい試みとして、ひとり暮らし高齢者約1,600名と市内の中学生（ジュニア奉仕団）約800名が、往復はがきでメッセージを贈り、交流を図る企画を行いました。また、中学生へは高齢者からの返信はがきとともに、ボランティアグループやふれあい・いきいきサロンで作ったエコテープのストラップを贈りました。この企画名のとおり、多くの人達の思いやりの輪ができました。
※この内容は、こまき社協だより206号（12月号）にも掲載しています。是非ご覧ください。



↑中学生（ジュニア奉仕団）からのメッセージ。
綺麗に描いたイラスト入り。相手が分からなくても、体を気遣う優しいメッセージ。



↑高齢者からの返信はがき。
気遣いのメッセージへのお礼や自分の近況。中学生へ人生の先輩としての激励も。



ジュニア奉仕団とは…

市内の9中学校にあり今年で設立32年を迎える歴史のあるボランティア団体です。団員は約800人で、団員を率いる団長の他、役員が意見を出し合って地域でのボランティア活動を展開しています。この活動は全国で小牧市だけのすばらしい取り組みです。各中学校の担当の先生と地区の世話人の方が生徒達の活動のサポートをしており、美化活動、街頭募金、福祉施設訪問、高齢者等へのレター書き等を行っています。ジュニア奉仕団の精神は、先輩から後輩へと引き継がれ、地域や社会に進んで貢献する気持ちを培っています。

はがきを書きました



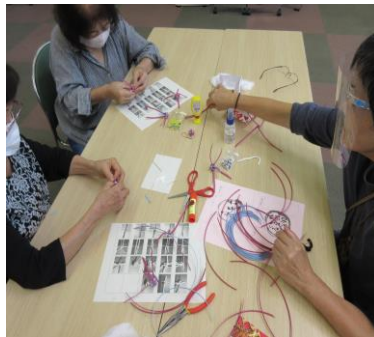
(左) 北里中学校3年 ^{ますの} 榎野 洋子さん
(右) 北里中ジュニア奉仕団担当教諭
藤村 ゆうき先生

【^{ますの}榎野さん】コロナ禍でジュニア奉仕団も活動が少なく、ずっと誰かのためになることがしたいと思っていました。絵を描くことが好きです。受け取った方が私の絵を見て晴れやかな気持ちになって貰えるよう1枚1枚心を込めて書きました。ジュニア奉仕団では副団長を務め企画に携わってきました。今は受験勉強を頑張り、卒業後は「ココボラ」に参加して地域に関わる活動を続けたいと思っています。

【藤村先生】今年はコロナ禍で活動がない中、良い経験になりました。相手が喜ぶような、相手を労わるような言葉を書いてねと伝えただけ。団長、副団長が団員に向けて書き方例を作るなどみんなで工夫し取り組みました。

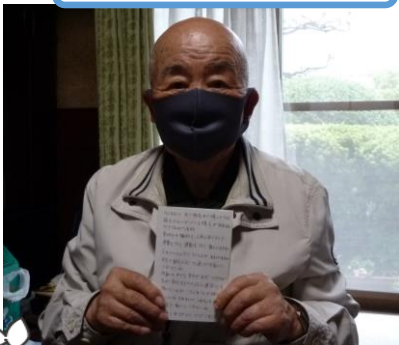


↑ 中学生への贈り物 エコテープのストラップと手作りの袋



【ボランティア・サロン参加者】
「誰かのために何かやるっていいものだね」「中学生の子たち喜んでくれるかな」「楽しい」「元気をもらった」
コロナの影響を受け活動自粛していたボランティア活動やふれあい・いきいきサロン活動にもやる気と笑顔が。

はがきを受け取りました



^{つかもと} 塚本 ^{ゆたか} 豊さん


【^{つかもと}塚本さん】偶然同じ苗字の中学生からはがきが届き、感激。はがきには、飼っている猫の話題やコロナに負けずに頑張ってくださいというメッセージが。思わず微笑み、時間を掛けて丁寧に返事を書かれました。塚本さんの趣味は将棋で、毎日新聞を読み、藤井聡太棋士の記事をスクラップしているそう。息子さんや娘さんとも交流し、民生委員さんの見守りのもと、お一人暮らしをしています。中学生へ、「これからも追及心を大切に頑張ってね」と激励の言葉を贈りました。

ご協力くださった皆様、ありがとうございました。

地域支え合い推進員とは？

年齢や障がいの有無に関わらず、誰もが住み慣れた地域で自分らしく暮らしていけるような、支え合いのまちづくりをサポートする専門職です。例えば、地域におけるボランティア活動等の立ち上げや担い手の養成、地域の活動を充実させるための仕組みづくりや、必要なつながり作りに取り組みます。ぜひお声がけ下さい！



☺ ☺ ☺ ☺ ☺ ☺ ☺ ☺ ☺ ☺ ☺
☺  小牧市社会福祉協議会 地域福祉課
〒485-0041 小牧市小牧五丁目 407 番地
☎ (0568) 65-7051
☺ ☺ ☺ ☺ ☺ ☺ ☺ ☺ ☺ ☺ ☺